

アウトサイダー・アート Contemporary Art Brut vol.8

芝田貴子『おかあさん』

2012.08.21(火) ～ 09.17(月・祭)

読賣新聞 シティライフ 8月28日掲載

信楽青年寮の芝田貴子の絵画展を開催します。

芝田貴子はアウトサイダー・アートの作家です。

アウトサイダー・アートとは既成の概念、価値観、美術教育の外側にいるアーティストによるアートです。欧米ではアートの一ジャンルとして認知され、専門の美術館・ギャラリーがあり、コレクターが存在します。

日本でも独特で魅力ある彼らの作品が注目されています。

2010年、パリ市立アル・サン・ピエール美術館で開催された「アール・ブリュット・ジャポネ」展に芝田貴子の作品が出展されました。

また、2011年～2012年にかけては信楽青年寮作品展として、文化交流のため台湾(中華民国)を巡回しました。



彼女は自分の母親のみを描き続ける。

パターンも決まっており、ショートヘアーにどんぐりまなこ赤い口紅、青いスーツに黒い靴だ。

画面いっぱいのおかあさんは、画用紙からはみ出すような頭頂部や腕と足の部分が特徴的。

画用紙からはみ出ている部分は、机に描かれているかというのではなく、紙サイズの中でこの絵を完結させている。つまり頭の部分も腕の部分も、そこでカットされているわけだ。

それが意図的かそうではないのか判別できないが、画面から押し寄せてくる迫力ある「おかあさん」は間違いなくこの部分カットの効果による。

フォトショップ的に云えば、トリミング失敗ということだ。しかし、その失敗？が大変面白くユニークな印象を持たせている。

絵は＜はみ出しおかあさん＞だけではなく、＜少しスリムなおかあさん＞も存在する。

いずれにしろ彼女の描く母親像を見ていると思わず、「**おかあーさん！**」と大きな声で呼びかけたくなる衝動に駆られること間違いなしだ。



380×540mm 画用紙、色鉛筆、ペン

昭和48年 12 月 25 日、滋賀県出身

展示歴

- 98.03 芝田貴子の仕事展(京都、ギャラリーそかわ)
- 98.11 君は手ぶらでやってきた(神戸、兵庫県立近代美術館)
- 99.02 このアートで元気になる展(東京、東京都美術館)
- 00.07 よろこび・びっくりアート展(群馬、富岡市立美術博物館)
- 01.11 ボクの色、私のかたち展(滋賀、ブルーメの丘)
- 02.06 西から来た妖精たち展(栃木、もうひとつの美術館)
- 07.09 ART BOX4～冒険へ、出かけよう～展(横浜、mont-bell グランベリーモール店)
- 09.02 アメニティ美術展(滋賀、大津プリンスホテル)
- 09.06 顔展(滋賀、ボーダレス・アートミュージアムNOーMA)
- 09.12 顔展(巡回)(沖縄、県立博物館・美術館)
- 10.03 アール・ブリュット・ジャポネ展(フランス、アル・サン・ピエール美術館)
- 11.11 信楽吹来的風展(巡回)(台湾、國立清水高級中學藝文中心ほか)